

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (会津流域)

1 流域の特色 (国有林 205千ha、民有林 239千ha)

- ① 本流域は、福島県の西部に位置し、阿賀川源流部の大川及び只見川水系に所在する。
流域内の河川には、水力発電用や多目的ダムが数多くあり、水源地域として重要な役割を担っている。
民有林と国有林をあわせた人工林率は2割弱で、広葉樹を主体とした天然林が多く、国有林の人工林は、スギ、カラマツ、アカマツを中心とした約30千haで国有林面積の15%となっている。
- ② 本流域内には平成19年に指定された尾瀬国立公園をはじめとし、日光及び磐梯朝日国立公園や県立自然公園があり、森林レクリエーションや保健休養の場として多くの人々に利用されている。
- ③ また、原始的な森林生態系を保存するため、本流域の南西部の自然度の高い奥会津地域及び、本流域の北部の飯豊山周辺並びに吾妻山周辺をそれぞれ森林生態系保護地域に指定しているほか、広範囲で効果的な森林の持続性の確保と森林生態系の一層の保護・保全を図り、生物多様性の維持・向上を図ることを目的として、流域内の国有林のほぼ全域にわたり緑の回廊を設定している。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 「低コストで壊れにくい作業路」作設の普及
- ② 雪害等による生育不良な林分の適切な施業方法の検討
- ③ 広葉樹林分の施業方法の検討
- ④ 奥会津森林生態系保護地域の保全管理の推進、シカやクマによる剥皮対策
- ⑤ 国有林野をフィールドとして林業体験、自然観察、森林教室の実施
- ⑥ 流域内の各種イベントに積極的に参加協力し、森林の公益的機能のPR

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 県・市町村
 - ア) 森林病虫害防除の連携した対策の推進
 - イ) 森林施業効率化のために民有地との共同実施
 - ウ) 上流・下流の連携による木材の流通
 - エ) 林業体験等による上流・下流住民の交流
 - オ) 林業の役割、関心の向上
 - カ) 森林公園内の国有林整備の推進
 - キ) 生物多様性の保全、生態系に配慮した路網の整備

- ク) 森林施業(間伐)における資源の積極的な有効活用
- ケ) 伝統工芸品に必要な広葉樹資源の計画的生産・供給の取組
- コ) 低コスト作業路網の整備など、民有林との技術の共有
- サ) 民・国一体の森林整備の推進
- シ) 流域内の木材市場の機能充実
- ② 森林・林業関係者
 - ア) 低コスト作業路作設検討会の開催
 - イ) 森林施業技術共有のための現地検討会の開催
 - ウ) 広葉樹林の間伐と、作業路を利用した森林療法、キノコの植菌など森林の活用についての検討会の開催
 - エ) 森林教室・森林観察会の開催
 - オ) 国有林業務体験学習の開催
 - カ) 木質バイオマスエネルギー学習会の開催
 - キ) 林業体験等による上流・下流住民の交流
 - ク) 森林環境教育のためのフィールドの提供
- ③ 企業・市民等
 - ア) 森林教室のためのフィールドの提供(広葉樹の植林)
 - イ) 会津流域に適した広葉樹施業の技術体系の作成

4 国有林野事業が率先して行う取組

- ① 計画的な木材供給の推進
 - ア) 目標
流域内における間伐材、林地残材等の利用促進
 - イ) 連携・協力機関
会津流域林業活性化センター(協議会)
 - ウ) 取組方向
会津流域林業活性化協議会構成員等を対象に間伐等の技術研修の実施及び間伐材等の需要拡大に係る資料の提供
- ② 森林施業の効率化・共通化等の取組
 - ア) 目標
国有林野を活用しての低コスト作業路作設の指導・普及
 - イ) 連携・協力機関
会津流域林業活性化センター(協議会)
 - ウ) 取組方向
流域内の林業関係者に対し、「低コストで壊れにくい作業路」の作設のための現地検討会を開催し、広く普及の拡大を図る。特に、オペレーターの技術向上に努める。
- ③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
 - ア) 目標
森林現況に応じた適切な森林施業技術の指導・普及

- イ) 連携・協力機関
県、市町村、林業事業者
- ウ) 取組方向
積雪地帯の生育不良な人工林における画一的施業を排除した作業方法の指導・普及を行い、森林施業技術の向上を図る。
- ④ 安全・安心への取組
 - ア) 目標
治山事業連絡調整会議等における情報の共有
 - イ) 連携・協力機関
県
 - ウ) 取組方向
イベント等において民国連携した治山事業のPRを行う。
- ⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進
 - ア) 目標
森林生態系保護地域の適切な保安全管理、クマ、病虫害等による森林被害の防止対策
 - イ) 連携・協力機関
環境省、県、市町村
 - ウ) 取組方向
奥会津森林生態系保護地域における生態系保全を推進する。
また、各種森林被害状況の情報交換を行うとともに、連携した防除対策を行う。
特に、クマ剥皮被害防止対策実施後の状況調査を行い、今後の被害防止対策に活用する。
- ⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等
 - ア) 目標
教育関係機関と連携した森林環境教育の推進、流域の自然環境の維持・保全
 - イ) 連携・協力機関
教育関係機関、会津流域林業活性化センター及びボランティア団体等
 - ウ) 取組方向
 - ・ 地元小中学生等を対象にした森林教室、林業体験等の実施
 - ・ 森林整備ボランティア等へのフィールドの提供及び技術指導
 - ・ 森林林業に関するイベントへの積極的な参加等を通じて、国有林の役割、森林の公益的機能のPR等に努める。

| | | | |
|----------|----------------------|------|-------------------|
| 流域名・流域番号 | 会津流域（34） | 担当部署 | 会津森林管理署・ 南会津支署 |
| 計画期間 | 平成22年4月1日～平成25年3月31日 | | |